

『自らを超えていける人』

「予測困難な時代」を生き
ていく子供たち。だからこ
そ、見通しをもち、知識や
経験を総動員して考える。
多様な価値観をもつ他者と
関わりながら課題を解決し
ていく。そんな体験が大切
になってきます。

学んだことを糧に、また
新しい自分に出会えるよう
に。光村の教科書では、「主
体的・対話的で深い学び」
を支える確かな手立てを示
しました。

見通す

見つける

試行錯誤

深い学び

振り返る

次へ
つなげる

対話

振り返る

考えをもつ

読み深める

捉える

読み深める

考えをもつ

振り返る

□ 筆者の論の展開の要約を、筆者の立場から、自分の言葉でまとめよう。

□ 「筆者の論の展開」の要約を、筆者の立場から、自分の言葉でまとめよう。

□ 読者の立場から、筆者の論の展開の要約を、筆者の立場から、自分の言葉でまとめよう。

観点	検証の方法	結果・評価
読者の立場から		
筆者の立場から		
読者の立場から		
筆者の立場から		
読者の立場から		
筆者の立場から		

① 仮説の検証一
読み取り、検証の検証一

② 仮説の検証二
読み取り、検証の検証二

③ 論の展開の検証一
読み取り、検証の検証一

④ 論の展開の検証二
読み取り、検証の検証二

⑤ 論の展開の検証三
読み取り、検証の検証三

⑥ 論の展開の検証四
読み取り、検証の検証四

「主体的・対話的で深い学び」を実現する

詳しくは

光村の国語 完全活用ガイド
「主体的・対話的で深い学び」を
通して育む 新しい時代の国語力

新しい「学習」(手びき)紙面

見開き構成の
紙面に生まれ
変わりました

平成28年度版

134

学習

学習活動
目標
文章の構成や展開の効果を考え、考えたことを文章にまとめよう。
筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。
文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。

次のようなことを考えながら、文章を読んでみよう。
「どんな問いが、どんな順序で出ているだろう。」
「どうしてこの順序になるのだろう。」
「次は、どんな問いが出てくるだろう。」



POINT 1

- 文章の構成と内容を捉えよう。
① 本文を、役割によって次の五つの部分に分けて
② 前提となる知識 ③ 研究のきっかけと仮説
④ 仮説の検証 ⑤ 仮説の検証 ⑥ 仮説の検証
⑦ ④の部分を読み、筆者が、どのような事実を基に、どのような仮説を立てたかを確かめよう。

POINT 2

- 論の展開に着目し、その効果を考えよう。
① 仮説の検証①・②について、次の五つの観点で内容を
読み取り、表にまとめよう。

観点	仮説の検証①	仮説の検証②
検証の目的		
検証の方法		
結果		
考察・解釈		
問題点		

- 筆者が行った実験や観察により、なぜ仮説が証明されたと見えるのだろうか。表を基に話し合おう。

POINT 3

- 考えたことを文章にまとめよう。
結論に説得力をもたせるために、筆者はどのような工夫をしているだろうか。本文の記述や図表などを根拠として、自分の考えを文章にまとめよう。

- 筆者の論の展開の特徴を、説明しよう。
「事実と意見」という言葉を使って書こう。
説得力のある文章を書くために使ってみよう工夫を挙げよう。

学習で用いる言葉

意見
結果に基づく
考察・解釈
「ここから、……と結論づけられます。」

事実
実験や観察の
結果
「確認すること」
「事実がどのような考えの根拠となっているか。事実の解釈や、事実から意見への展開に無理はないか。」
「結果となりました。」
「はほとんどいっていませんでした。」

仮説
ある現象を説明するために、仮に立てる説。検証を通して、事実と合うことが証明されると定説となる。
検証 実験・観察などによって得た事実と照合し、仮説を証明すること。
「26」説明的な文章を読むために
言葉を広げる
次に挙げた言葉の意味や使い方の違いを考えよう。
① 仮説・仮定・予想 ② 検証・証明・裏づけ

1年P134 「言葉」をもつ鳥、シジウカラ 「学習」ページ

POINT 1

学習過程が
ひと目でわかる

生徒の主体的な学びを促すために、
学習過程を明示するとともに、重点を
置く過程は強調して、身につける力の
焦点化を図りました。個↓集団↓個で
対話的に学びを深めます。

POINT 2

- 「深い学び」へ導く
具体的な手立て
「学習の窓」では、汎用的な読みのポ
イントを、図解とともに示しました。
- 1 年間で学ぶ読みの力を一覧できます。
2 学習用語が使用語彙になるよう、取
り立てて示しています。

POINT 3

自分の言葉で書く
振り返り
「何ができるようになったか」を自
分の言葉で書く設問です。理解したこ
とを言語化したり、他の場で活用(転
移)したりすることで、資質・能力を
確実に定着させます。

教科書全体も 「見通す」+「活用する」

学習の見通しをもつ

「見通し」を「見通す」と「活用する」

学習の目標	学習の過程	学習の成果
文章の構成や展開の効果を考え、考えたことを文章にまとめよう。	文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。	文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。
筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。	筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。	筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。
文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。	文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。	文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。

- 身につける「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を、簡潔に示しました。
- 各領域の学習過程に沿って、学びの深まりを実感できます。

巻頭 「学習の見通しをもつ」

一年間の国語学習を見通す

巻末 「学習の窓」一覧

学習のポイントを体系的に見渡す

- 各領域と「情報の扱い方」の学習のポ
イントを、一覧にしました。
- 「読み方」や「思考の方法」などを、視
覚的に見渡すことができます。

学習の見通しをもつ

「見通し」を「見通す」と「活用する」

学習の目標	学習の過程	学習の成果
文章の構成や展開の効果を考え、考えたことを文章にまとめよう。	文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。	文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。
筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。	筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。	筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。
文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。	文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。	文章の構成や展開の効果について、根拠を明確にして考える。

学習の振り返り

自分の言葉で書く
振り返り

「何ができるようになったか」を自
分の言葉で書く設問です。理解したこ
とを言語化したり、他の場で活用(転
移)したりすることで、資質・能力を
確実に定着させます。

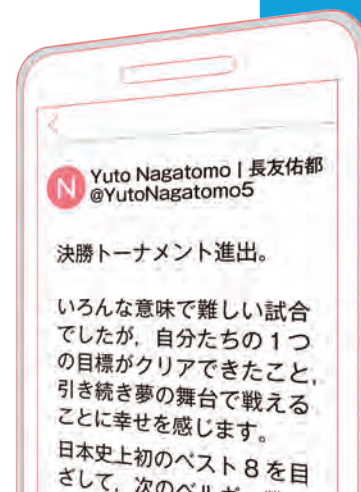
情報の信頼性を確かめる



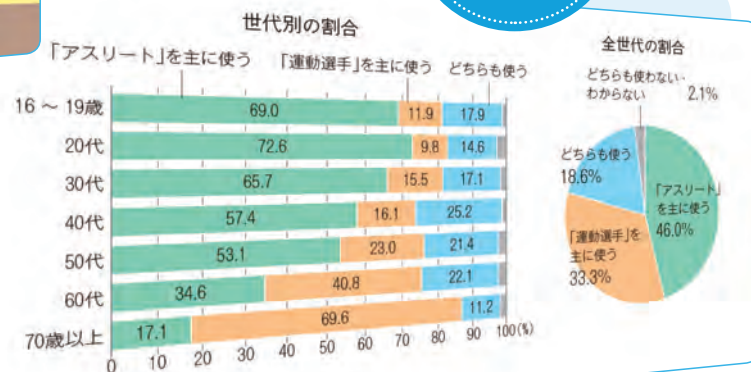
メディアの特徴を知る

急速に情報化する社会の中で、情報を適切に読み解き、真実を見極める力が求められています。そのためには、物事を多角的に分析し、根拠に基づいて判断する論理的思考が大切です。

子供たちが、希望をもってAの時代に漕ぎ出せるように。光村の教科書は、論理的思考や情報活用力の基礎となる言葉の力を鍛えます。



図表を読み取る



比較する



情報を整理する



≪ 新たな価値を生み出す人に

多様化、複雑化する現代社会。子供たちは、答えが一つに決まらない問いにも向き合っていなくてはなりません。だからこそ、先人の知恵を借りたり、他者と協働したりする力が必要です。言葉を通して人とつながり、過去に学んで、新たな時代の価値を創造できるように。光村の教科書では、豊かな感性とコミュニケーション能力を育む教材を充実させました。

読書

言語
文化

協働

感性

語彙

対話

14

「聞き上手になろう」

——相手の思いや考えを能動的に引き出す
「聞き方」のコツ

対話の力を
育む
新教材です

聞き上手になろう
質問で話を引き出す

聞き上手な人は、ただ黙って話を聞くだけでなく、たくさん質問で話を引き出し、対話を充実させることができる。ここでは、そんな聞き上手になることを目指して、質問のしかたやきき方の工夫を学ぼう

目標

- 音声の働きや仕組みを意識して話す

- 1 きき方の工夫や質問の種類を知る
右ページの林さんへの質問を、左のページを読んで考えてみよう。
- 2 対話の練習をする
① 二人一組になり、話し手と聞き手に分かれる。
② 話し手が簡単なスピーチをする。「一分」
③ 聞き手は①をふまえてきき方や質問のしかたを工夫し、質問
て紙をかき出す。三往復以上のかやり取りを繰り返さそう。「五分」
④ 役割をきかえ、②③をくり返す。
- 3 学習を振り返る

「きき方の工夫」

質問には、大きく二つの種類がある。

- **相づちを打つ**
聞かされたことをくり返す
話をしっかりと受け止めていることが伝わり、話し手が話しやすい。

● **相手の言葉を引用して質問する**
きいた内容や質問の意図が明確になり、話し手が答えやすい。

● **他の言葉で言い換えて確かめる**
話の内容を聞き手が言い換えることで、話を十分に理解していることを伝えることができる。

● **相づちを打つ**
「え、妹と二人だけで来たんですか。」

● **相づちを打つ**
「妹を連れての移動が大変そうですね。お父さんが大変だったのだから、お母さんでございまして。」




⑦ **答える質問**（事実や意見を確かめるとき）
答える質問に「閉じた質問」や「選択肢を示して選べる質問」「閉じた質問（クロスドクエスチョン）」ともよばれる。
○ ○ ○ です。
「はい/いいえ」
○ ○ ○ と △ のどちらですか。 (△ ○ ○ す / △ × す)

⑧ **広げる質問**（話題を広げたり深めたりするとき）
答え方を不定定す。相手に自由に答えるような質問。
「開いた質問（オープンクエスチョン）」ともよばれる。
そのとき、どういいますか。
・ どうして なのですか。
・ くわしく言うとう、どういいうことですか。
・ 例えば という場合がありますか。
・ 他に がありますか。

※ **質問の順序**
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧
③から⑧展開すると話し手が答えやすいことが多い。
①②はここはどちらが好ましく.....
・ ②のようなほうが好ましくですか。 (②)

● **質問へは幹線で行かなくては**
「質問へは幹線で行かなくては。」

● **質問へは幹線で行かなくては**
「質問へは幹線で行かなくては。」




読書教材「読書生活を豊かに」

——思わず本に手を伸ばしたくなる、楽しい仕掛けが満載

1年
本の中の中学生

中学生が登場する本の一部を紹介し、同じテーマで読み広げていく楽しさを伝えます。

2年
翻訳作品を
読み比べよう

「星の王子さま」の二つの翻訳を読み比べると、から、世界の名作へといざないます。

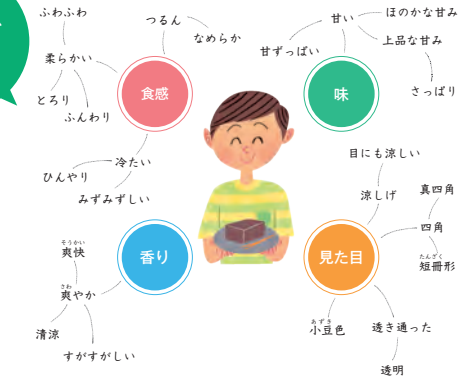
「言葉を集める・比べる・選ぶ」

——語彙を増やし、語感を磨くための具体的な方法を提案

語感を
磨く

アには両方入るけど、
イとウはどうか。

語彙を増やす



詳しくは
光村の国語 完全活用ガイド
学びを支える 語彙力

古典導入「古典の世界」

——古典と現代の子供たちをつなぐ
学習への期待が高まる導入

古典との
新鮮な出会い
を演出する
新教材です

古典の世界

古典は、年々月を超えて、今日まで続々と読まれてきました。そこには、時代の中で勝勢に生きる人間の姿とともに、人々のその見方や感じ方、豊かな想像力などを見ることができるとも、現代と異なる道徳や価値観がいちどついても人の心の真実は、いつの時代にも変わるとも私たちが胸を打つものです。和歌や物語、随筆など、三年間てさまざまな種類の古典作品にふれ、「今」に「こ」にはないものに、想像のばさを広げてみましょう。

のだらう。

和歌の世界

—

和議の世界

平安時代の物語

から生まれたかくや姫
人の貴公子から求婚され

戦乱の時代の物語

平家一族が榮え、ほろんでゆ

江戸時代の紀行文

松尾芭蕉の記行文